

もっと もっと あーとの時間

卒業記念として、図画工作科で何か制作をする学校も多いかと思います。オルゴールや自画像、共同制作などのいろいろなテーマの実践がこれまでもあります。今回は「10年後のわたし」ということで、立体作品で表すものを紹介します。体のつくりの理解や彩色、接着、釘打ち、のこぎり、糸鋸などのいろいろなスキルが混在し、大変な面もありますが、卒業に当たって、将来の夢やなりたい自分について考える先に、この立体制作をからませるといいかと思います。より、自分に密着した形での熱のこもった制作が楽しめますよ。

GRAD
卒業
NO.1

10年後のわたし




理科室の人体模型で体のしくみ、骨格を理解します。



芯は簡単に作れますが、今回はセットです。紙粘土で肉付けをしていきます。

…その後、背景など、サブ的な要素も加えながら、夢の表現を高めていきます。六送会の際に展示しました。(写真小さくてm(_ _)m)



そして、完成!!

「10年後のわたし」美術館!!
スタート!!

六送会終了後には、別室で展示し、下学年も鑑賞できるようにしました。



ここからは、国語科の「今、わたしは ぼくは」(スピーチ教材)につなげていきます。作品そのものの鑑賞は図工科のねらい通り行い、よさやおもしろさ美しさを感じ、味わっていきます。国語科のねらいとしては、「聞く人の心に届くように発表しよう」ということで、①伝えたいことを決め、②構成を考え、③話し方を工夫しながらスピーチを行うことになっています。今回は、発表をグループセッションのような形式で、フランクに様々なことを語り合う時間をもつことで、図工の鑑賞部分、夢の実現の道徳的な部分を入れていきます。



国語のスピーチ部分についての確認（届ける側と受け取る側の注意点など）を行った後、全体の流れ（次ページワークシート参照）を確認し、スピーチに入ります。グループ毎にそれぞれ、2～3分程度で行い、質問の後でフリートークに入ります。作品に込められた思いと自分の夢に対する思いは同じです。今回は構成の骨子だけを作らせ、生の声で語らせました。熱の入ったスピーチと生き方への話し合いになりました。その後は、夢の実現のために大事なことを全体で話し合いました。



熱心に感想を書く子ども達。



名前

写真を貼る

★自分宣言をしましょう。

●なりたい自分(夢)

●作品アピール

